平成３０年度　塩川小学校　学力向上グランドデザインチェック表

（　　）年（　）組

●月末に4・3・2・1の点数で自己評価（平均は小数第1位まで表記）、学期末に成果と課題の記入

1　授業力（課題意識を高め、見通しを持たせる単元構成）		5月	6月	7月	平均	○成果　●課題
①「めあて」と「まとめ」の整合性 □ノートにめあてとまとめを書いてある						
②思考のｱｸﾃｨﾌﾞ化（児童主体）対話的な学びの充実 □ﾍﾟｱやｸﾞﾙｰﾌﾟ、全体での話合い						
③「書く→話す→話合う」過程の確実な位置づけ □週案を活用した教材研究と反省（月曜提出）						
④適用問題の時間の確保 □学習内容の定着の確認（授業内で） □ﾜｰｸﾃｽﾄや県定着確認シートでの目標値との比較や補充指導						
⑤まとめの充実 □自分の言葉でまとめる						
2　学級力（授業を支える学級の基盤づくり）		5月	6月	7月	平均	○成果　●課題
①生徒指導の機能を生かした授業 □Q-Uテストや学級力ｱﾝｹｰﾄ、学校アンケートの結果を生かした授業（個別支援や話合い活動）						
②「なかたく（なかよかくましく生きる）ﾀｲﾑ」による自己効力感の向上 □学級目標で引き上げたい内容を意図的に設定した「なかたくﾀｲﾑ」の工夫（場面・内容・形態）						
③「なかよくたくましく生きる」の理念を生かした活動 □学級力ｱﾝｹｰﾄ（学級目標についてのｱﾝｹｰﾄも可）の実施（学期1回以上） □学級目標や「なかたく」の意識付けや振り返り						
④「スマイルタイム」やよさの可視化（学級力）を通した自治的な学級づくり □学級力ｱﾝｹｰﾄのﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄの掲示						
⑤ＳＳＴ（ｿｰｼｬﾙｽｷﾙﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ）等による人間関係力の育成 □SSTの実施（学期1回以上）						
3　学力向上を支える基盤づくり		5月	6月	7月	平均	○成果　●課題
①「塩川小家庭学習スタンダード」の活用と家庭学習の習慣化（１０分×学年＋１０分以上） □　家庭との連携，授業と関連した予習･復習						
②全校一斉の読書（火曜日以外の朝）、家庭での読書の推進 □低学年…週3冊以上、中学年…週2冊以上、高学年・特別支援学級…週1冊以上						
③「放課後学習会」の充実 □　基礎基本の定着、ﾚﾃﾞｨﾈｽをそろえる、積み残しの解消 ※算数は、「10の問題」を使った実態把握と個々のめあての設定						
④塩川小重点指導事項の定着 □　学校統一の学習習慣（学習用具・話す・聞く・話合う）						

教頭　印				
校長　印				